



サイバースマートシティ創造協議会（MCSCC）と益田市医師会の包括連携協定について

2021年8月27日

一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会

一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会（旧名称：一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会。以下「MCSCC」という。2018年10月29日設立）は、IoT／センサー等の技術を活用したサイバー空間とリアル空間の融合を通じ、人々がより健康で、より環境に負荷をかけずに暮らせるスマートシティの創造を目的として、私たちの「始まりの地」島根県益田市において、各種のプロジェクトを行ってまいりました。

このたび、MCSCC は、同市におけるプロジェクトの推進及び市民生活への浸透・深化を図るため、次のような取組を行うこととしました。

1. 益田市医師会との包括連携協定の締結

- MCSCCは、公益社団法人益田市医師会（島根県益田市遠田町1917-2／松本祐二会長）との間で、2021年7月27日、医療、ヘルスケアその他関連する分野（以下「医療ヘルスケア等」という。）におけるスマート化の推進に関し、医療ヘルスケア等に関する包括連携協定書を締結した。
- 島根県益田市では、MCSCC設立前から、設立メンバーとともに益田市医師会等と連携して医療ヘルスケア等におけるスマート化の推進に取り組んできたところであり、第一弾としての血圧等の測定データ収集と解析については、産官学（行政・医学・アカデミア・企業）の医学学術研究の治験審査委員会の承認を得たプロジェクトであり、個人情報保護の観点からMCSCCと分離した別の団体（一般社団法人益田ヘルスケア推進協会）を設立して取組を行ってきた。
- また、2020年からは益田地域医療センター医師会病院において、乳幼児見守りプロジェクトを実施し、現在も継続している。
- このような実績を踏まえて、今後、包括連携協定を締結し、一層の協力関係の強化を目指すこととしたものである。

2. 医療施設での高齢者介護プロジェクトの実施

- 包括連携協定の締結を受け、新たな共同プロジェクト（第3弾）として医療施設での高齢者介護支援プロジェクトを実施する。
- また、このプロジェクトには、パナソニックグループの協力の下、山陰パナソニック株式会社が参画することとなっており、2021年8月18日同社と益田市医師会が協議の上合意した。今後、連携してより一層取組を促進していく。

<お問い合わせ>

一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会

グローバルハットクォーター：東京都港区東麻布1-7-7-3F AGD内

<https://matrix-cyber.org/>

contact@matrix-cyber.org